

## サントメ・プリンシペ

在ガボン日本国大使館  
(サントメ・プリンシペ兼轄)

サントメ・プリンシペという国をご存知でしょうか。

ダイビングやスポーツフィッシングができる美しい海とのんびり穏やかな人々がいつも笑顔で迎えてくれるギニア湾に浮かぶ赤道直下の小さな島国です。

豊かな漁場に囲まれ、漁業は主要産業のひとつですが、エンジンを買うお金がない漁師が多く、漁船のモーター化率は22%程度にとどまっています。そのため、木をくり抜いて作った小舟にお手製の帆を掛けて漁に出ている人が大半です。強風によって帆が破れると遭難してしまう危険があるため、帆の材料選択は極めて重要です。その素材として各漁村で大人気なのが、日本の食糧援助米の米袋です。

自国で食料を確保できないサントメ・プリンシペに対する日本の食糧援助米は、国民から「Arroz Japão (ポルトガル語で「日本米」)」と親しみを込めて呼ばれており、非常に人気が高く感謝されています。そして、慢性的に物資が不足しているサントメ・プリンシペでは、その援助米が入っていた米袋も、帆の材料として再利用されているのです。「丈夫で破れない」という噂はたちまち広がり、今ではどこの漁村でも日章旗マークが入った帆を掲げて漁に出る帆掛け船を見ることができます。



日本による食糧援助米の米袋を使用して漁業用小舟の帆を作っている様子